

事業所における自己評価（公表）

公表：令和 4年 3月24日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10		給食時など、できるだけ濃厚接触にならないよう向きや位置を工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	10			・適切ではあるが、曜日によって利用者にはばらつきがあり、日によっては、職員が多く感じる日もある。 ・お子さんが多い時は「大変！」と思う時があります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10		・活動を行う場所や位置などをできるかぎりわかりやすくなるよう考えている。 ・活動ごとに部屋をかえることでわかりやすくなるよう工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10		・人数や活動にあわせてホールや療育室を使い分けている。 ・新型コロナウイルス対策も兼ねて消毒に気を配っている。 ・まん延防止重点措置等が出てからは、各部屋や共有部分の消毒を行い、感染症予防に努めている。 ・コロナ対策で、夕方に消毒をしている。給食時は、なるべく密にならないよう席の工夫をしている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10		事業所評価を実施し、ご意見ご要望を真摯に受け止め、改善できるように相談している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	2		

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		研修会の要綱など、必ず周知され、希望する研修を受けることができる。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10		個別支援会議で情報を共有し、支援職員全員で作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10			日々カンファレンスで振り返りを行い、個々の目標に沿えるよう努めているが、さらに努力が必要と感じる。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10		・子供たちの反応や様子などを見ながらプログラムを考えている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		・記録の前面に支援計画を掲示することで、計画に沿った支援ができているか、記録になっているかを確認できるようにしている。	・改めて記録をとることも怠らないようにしたいです。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	10			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	10			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10			・入園前に支援担当者会議で支援の経過や本人の様子を伝えている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10			・就学前に「すこやかファイル」を使って保護者と共に支援の経過や本人の様子を伝えている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	8		・交流を特に必要と感じていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	9	1		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			・バス利用で話をする機会が少ない方もいるが、連絡帳を使って情報共有している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	9	1		・銘打ってはいないが、常にその視点をもって対応している。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			・苦情や相談がないことから、契約時に丁寧に説明がなされていると思う。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			・お子さんの様子や保護者の悩み等にあわせていつでも相談しあえるような支援を目指している。

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10				
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・園全体で話し合ったり、相談の方との連携を図りながら対応している。 ・適切に対応していきたい。判断に迷う時は職員間で話し合い、保護者にお返事できるようにしたい。 	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10				
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10				
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			視覚的にわかりやすいよう絵カードや写真を使うなど工夫している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	6		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で来園していただけないのが残念である。 ・コロナ禍のため、行っていない。 	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10			<ul style="list-style-type: none"> ・多角的な面から想定し、保護者の協力も得て、毎月必ず行っている。 	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・多角的な面から想定し、毎月必ず行っている。 ・毎月の反省を生かしながら、より実際の災害に近い状況を想定して訓練している 	<ul style="list-style-type: none"> ・応急処置の練習をした方がいいと思う。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	1			<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種の状況確認はしていないが、必要時対応。 ・予防接種は把握していない。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10			<ul style="list-style-type: none"> ・職員に周知徹底をし、対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食器の色を変えているが、食事後の清掃は不十分だと思う。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			<ul style="list-style-type: none"> ・報告書の作成 	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10				<ul style="list-style-type: none"> ・適切な対応はしていると思うが、全体での研修はしていない。

	47	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している</p>	9	1	<p>・記載が必要な事例はないが、常に意識している。</p>	<p>・身体拘束を行うことがない。 ・身体拘束を行う状況は、現時点ではない。</p>
--	----	---	---	---	--------------------------------	--

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です